

岩国市地域医療計画(素案)に対するパブリックコメントの結果について

令和4年8月1日から令和4年8月31日まで、ご意見(パブリックコメント)を募集した結果、次の通り提出がありました。

- ・提出者数 2人
- ・意見の総数 44件

提出されたご意見の内容と、そのご意見に対する市の考え方をまとめましたので、次の通り公表します。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
1	計画全般について		-	この計画おける年次は基本的に和暦で表示されているが、4ページのように和暦(西暦)に統一してほしい。また、図表は、和暦のものが多いが、将来年次を含むものは西暦になっている。図表は、すべて西暦にすれば簡潔で分かりやすい。	○ご指摘を参考に表記を統一することとしますが、和暦(西暦)とすると文章が見難くなりますので、和暦で統一します。
2			-	この計画は、市民が自らの人生の最終段階まで、例え医療・介護が必要になっても、安心して暮らし続けることが可能な医療環境の確立を目指したものである。つまり、市民誰もが、住み慣れた場所で安心して尊厳のある生活を継続できるよう、医療、介護等のさまざまな支援が効果的・効率的に連動するしくみと、そのしくみを動かすための体制整備のあり方を追求しようとしているものである。この計画書を、医療、介護の支援を受ける一般市民の視点から、例えば日常療養時、急変時、退院時・退院後、看取り期という、4つのステージに応じて医療・介護等多職種連携の医療・ケア提供体制のもとで効果的・効率的な支援が受けられるということを、図解的に分かりやすく冊子として、あるいはホームページで提供されることを望みたい。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
3	第1章 計画の概要	1 計画の趣旨	1	この節の文章は、「計画の趣旨」として適切に論述されていない。ここでは、本計画の策定に至る経緯が述べられているだけで、計画策定の趣旨は記されていない。	○「本市の今後の医療提供体制等について一定の方向性を示す」ことを趣旨とし、記載していますが、ご指摘の通り大部分が策定に至る経緯であるため、表題を「計画策定の背景と趣旨」へ変更します。
4		2 計画の性格	2	この節の文章は、「計画の性格」として適切に論述されていない。「この計画は、(中略)各種計画との整合性を確保したのになっています。」などの表現が必要である。	○ご指摘のとおり修正します。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
5	第2章 本市の現状	1 人口	3	医療計画では、75歳以上の後期高齢者の動向を問題視しているにも関わらず、人口の構造分析においては 65 歳以上の高齢者の動向にしか触れていないのは機械的であり、問題意識が希薄である。 高齢者、前期高齢者、後期高齢者の年齢構成について分析すべきである。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
6		2 世帯	7	「一般世帯」の概念を説明すべし。 国勢調査では、世帯を「一般世帯」と「施設等の世帯」の2種類に区分している。「一般世帯」とは、「施設等の世帯」以外の世帯をいう。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯をいう。	○ご指摘のとおり注記を追加します。
7			7	誤「1.5～2%」→正「1.5～2ポイント」 これは、伸び率ではなく、増え方の程度を示している。	○ご指摘のとおり修正します。
8			7	高齢者夫婦世帯・高齢者単独世帯については、その割合の推移を示すだけでなく、実数についても図表とその説明が必要である。	○高齢者夫婦世帯・高齢者単独世帯の割合が増加していることを示すために掲載していますので、原案の通りとします。
9		3 人口動態	9	死亡数と出生数の差による「自然増減」だけでなく、流出数と流入数の差による「社会増減」についても分析すべきではないか。 若年層が進学や就職で流出超過になっている一方、定年帰郷、定年帰農などにより高齢層の流入超過がみられないか。	○人口動態のうち、医療分野と関わりの深い自然増減のみを抜粋して掲載していますので、原案の通りとします。
10		4 疾病構成	11	「令和元年度 疾病医療費割合大分類、市県国との比較」の棒グラフに構成比の数値を入れて貰いたい。 傾向としては、「全国、山口県、岩国市の状況を比較しても、ほぼ同じ割合になって」いるが、岩国市の「精神及び行動の障害」の割合は、全国に比べ相当に高くないか。その要因は何か。	○大まかに割合を見られるようグラフを掲載しており、構成比の数字を記載しますとグラフが見難くなるため、原案の通りとします。 ○「精神及び行動の障害」の割合が全国に比べ高い要因は把握できていませんので、今後把握に努めます。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
11			12	場所別死亡者数の割合は、岩国市では実態として自宅が12%であるが、死を自宅で迎えたいという希望、願望の割合はかなり大きいのではないかと考える。今後の医療体制の整備にあたっては、このギャップを把握することは極めて重要と考える。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
12		5 医療資源	14	医師の高齢化が進行していることを問題視する指摘があるので、5年後、10年後の医師数を推計しておくことが重要である。医師が5年後、10年後に大幅に減少することが想定されるなら、新たな医師の確保策の重要性、緊急性が判明することになる。将来の医師数の推計方法については、医師の年齢5歳階級別人数に残存率(山口県医師統計より算出)を乗じて求め、これに近年の平均的な年齢別新規参入医師数を加算することなどが考えられる。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
13		7 救急医療の実績	17	【救急受診者数の推移】の表側の「医師会病院救急センター」については、正式名称「岩国市医療センター医師会病院救急センター」とするか、注を付けて略称であることを示すべきである。その後の記述も正式名称であったり、略称であったりしていることから、名称について統一を図ることが望ましい。	○ご指摘のとおり修正します。
14			20	円グラフの中央にある、1,760件は、令和元年度(2019年度)、令和2年度(2020年度)の相談件数の合計であることを注で示すべきである。	○ご指摘を参考に、1,760件が令和元年度と令和2年度の利用者の計であることがわかるよう本文を修正しました。
15			21	【小児救急医療電話相談事業 #8000】の折れ線グラフには山口県全体に加えて、岩国地域の相談件数も出ているが、岩国圏域とは和木町を含むということか。下から8行目の「岩国市内からの相談件数」の「岩国市内」は「岩国圏域」とすべきではないか。	○ご指摘のとおり修正します。
16		8 市民満足度調査	24	この計画には、平成30年度(2018年度)の調査結果が使われているが、計画策定過程からみて令和2年度(2020年度)も追加的に使用可能だと考える。1年度分のデータでは特異な結果が出ることも考えられるので、3カ年のデータを使用した方が望ましいと考える。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
17			24	この満足度調査の主な取組み、活動内容・実績等については、それぞれの所管部署にて作成していると思うが、令和2年度調査「5 医療環境の整備」の「美和病院 フラットパネルセンサシステム更新」などは医療関係者でなければ理解できない。一般市民にも理解できるよう注釈などを入れないと、評価の集計結果の信頼性にも影響し、資料の価値が低下することになる。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
18			25	満足度、重要度の点数化の計算方法、及びニーズ得点の計算方法については、注で説明すべきである。 推測するに、満足度は「そう思う」(2点)、「ややそう思う」(1点)、「あまりそう思わない」(－1点)、「そう思わない」(－2点)とし、重要度は「重要である」(2点)、「やや重要である」(1点)、「あまり重要でない」(－1点)、「重要でない」(－2点)としているのではないかと推測する。「3－満足度」よりも「2－満足度」の方が、満足度満点が2ということで説明力があり、適切ではないか。	○点数化の計算方法につきましては、簡潔な説明に留め、原案の通りとします。 ○ニーズ得点の算出方法変更につきましては、貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
19			25	「満足度と重要度を加重平均して点数化すると、満足度は－0.071ポイントとなっており、全項目の平均値は－0.072ポイントなので、平均を僅かに上回る結果となりました。」という記述は、修正すべきである。評価は、マイナス評価であるのに、平均値を上回るという表現により、いいイメージを与えているのは適切ではない。	○ご指摘を参考に表現を変更します。
20	9 地域包括ケアシステム		27	「医療機関に入院している患者が、退院後に在宅や施設等での療養を希望する場合に、患者がこれから居住する地域でどの医療機関を「かかりつけ医」とするのか、また、当該患者が退院し、在宅等で生活するために必要な支援について調整することで、医師、看護師、ケアマネジャー、訪問看護、訪問介護等の多職種が連携できるよう取り組んでいます。」の文章は、何を言おうとしているのか不明である。医療連携により、「かかりつけ医」を決定するのか、それも施設で療養する人も対象になるのか、また「在宅等で生活するために必要な支援について調整する」のは、医療連携の一つと考えるが、この文章ではそのように読めない。	○ご指摘を参考に文章を修正します。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
21	第3章 計画の基本的な考え方	2 計画の基本方針	28	「いつつばしネット」や「MCS(メディカルケアステーション)」については、28ページの下部に注釈を入れて貰いたい。 注)MCSとは、医療介護の現場で利用できる地域包括ケア・多職種連携のためのコミュニケーションツール。	○どちらも46ページに掲載していますので、原案の通りとします。
22			29	12行目の「身体的・精神的・社会的に」は、この位置に置くよりも、「個人が持つそれぞれの能力に応じて身体的・精神的・社会的に自立した日常生活を送り」とする方が良いのではないかと。	○ご指摘のとおり修正します。
23			29	ここの文章は分かりづらい。次のように修正することを提案する。 「市民が自らの健康管理に取り組むことができるよう、また必要な時に適切な医療を受けることができるよう、医療・保健・福祉・介護等の多職種と連携を図り、医療や疾病に関する市民生活に必要な情報を集約し、市民メールや市民ニュースアプリ、ホームページ、広報紙、民間広告等の媒体を利用した医療情報の提供を分かりやすく発信することに努めます。」	○ご指摘を参考に文章を修正します。
24	第5章 計画の推進・評価	1 医療提供体制の堅持	31	行政上の課題としての文章としては、「必要です」よりも「必要になっています」の方が良いように思う。	○ご指摘のとおり修正します。
25			31	31ページ5行目の「医療環境の整備は、市民が重要視」を「最」を入れて、「医療環境の整備は、市民が最重要視」とすべきである。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
26			31	「患者の専門医志向や高度な医療に対応する大規模な病院に患者が集中する傾向が見受けられます。」という文章は、域内、市内、あるいは県内の大規模病院に集中すると読み取れるが、県外の症例数、手術数の多い病院に行く人も多いのではないかと。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
27			31	「本市の医療提供体制を堅持するため」は、文脈からして「本市の医療提供体制を堅持、増強するため」とする方が適切である。	○現状の体制を維持することを目標としていますので、原案の通りとします。
28			31	「本地域の周辺地域」とは域外と読み取れる。「本地域の遠隔集落」などの表現の方が良いのではないかと。	○ご指摘の通り域外と読み取れてしまうため修正しますが、表現は「本地域の周辺部」とします。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
29			32	「専門医療や高度医療機器が整備されている国立病院機構岩国医療センターがあり」は、「本地域には専門医療や高度医療機器（後略）」のように、最初に「本地域には」を入れるべきである。	○ご指摘のとおり追記します。
30			32	「公共交通機関を利用することにより、医療機関を受診する」は、「公共交通機関の利便性が高いことから、旧市内の医療機関を受信する」と修正する方が望ましい。	○利便性が高いとまでは言い難いため、原案の通りとします。
31			32	「遠隔医療等を含めた医療提供体制を検討する必要があります」は、「遠隔医療等を含めた医療提供体制の構築を検討する必要があります」とする方が良い。	○ご指摘のとおり修正します。
32			34	市内の産科医が減少していて不安を聞く。減少の理由はなにか。コロナ以前から少子化が問題とされているが、現在の分娩取扱医療機関を維持するだけでなくより充実・拡充させることと、若い人たちが本市を選んで出産・子育てをしようとする子育て支援との両輪が必要だと思う。後者は市政の課題であるが。	○様々な理由があり、産科医の不足は全国的な問題となっています。そのため、既存の医療機関の支援や新規開業等に対する支援を検討することとしており、原案の通りとします。
33			34	小児科医の確保に言及してあるが、小児医療は病気だけでなく、発達障害等の早期発見と早期ケアが求められている。今はニーズがますます増え、就学前の小児を中心に療育が進められていて児童期の利用がしにくいと聞く。発達障害の受診、診断、ケア等の充実も併せて願う。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
34			35	高齢者や独居高齢者が地域で多くなっている。通院手段の確保が必要だが、5年後の目標値が「検討するための年一回以上の協議」とあるのは曖昧。せめて「協議し通院手段の確保を進める」と明言してほしい。	○ご指摘を参考に表現を変更します。
35			36	「本市の医師の高齢化は、ますます進展しています」は、「本市の医師の高齢化は、ますます進行しています」と「進行」を用いる方が望ましい。	○ご指摘のとおり修正します。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
36			36	医師の高齢化が書かれていたが、地域のかかりつけの個人病院が閉院したのは高齢化のためと聞く。それに伴いこれまでの自分のカルテが消滅したタイミングでこの度コロナ感染拡大にあたりかかりつけ医の必要性を実感した。電子カルテの導入等新しいこれからの医療を担う人材の育成、閉院を防ぐ支援も必要と思う。電子カルテ、医療情報の共有などを図る体制強化には期待したい。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
37			36	ソフト対策以外に病床の確保・拡充についてのハード面の問題が記載されていない。地域医療構想により病院ベッドの削減が計画されていると聞くと、どう考え、どう取り扱うのか、特に市立病院の病床削減は行わないでほしい。	○病床数については、市を含めた関係機関が参加している岩国医療圏地域医療構想調整会議で協議しています。そのため、貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
38			-	また、新型コロナの波状的な感染拡大が続いており、今後においても新しい感染症の発生はあり得る。これにどう備えるのかも検討してほしい。感染症対策は県まかせでなく岩国市としてもっとやるべきこと、できることがあるのではないと思う。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
39		2 救急医療体制の堅持	38	下から2行目の文章の始まりに、●を入れる。	○ご指摘のとおり修正します。
40			39	「ドクターヘリが円滑に運用できるよう、岩国地区消防組合と連携を図り、中山間地域における「ドクターヘリ運用マニュアル」を検討するとともに、離島を含めた運用実績等について検証します。」の文章は分かりづらい。次のように修正してはどうか。 「ドクターヘリが円滑に運用できるよう、中山間地域や離島における運用実績について検証するとともに、岩国地区消防組合と連携を図り、「ドクターヘリ運用マニュアル」の早期作成を目指します。」	○ご指摘を参考に文章を変更しますが、離島の「ドクターヘリ運用マニュアル」は既に作成していますので、それを踏まえた形とします。
41			40	救急医療の区分や様々な現状がとてもよく理解できた。その中で「休日当番医制度」が医師会の協力によるもので、医師の高齢化や新規会員が少ないので本制度を見直す必要があることを知り、今後どうなるのか不安である。	○貴重なご意見として承り、医療提供体制の堅持に努めます。

番号	該当項目		頁	ご意見等の内容	市の考え方
42			40	取組でいうと、計画全般、いたるところに「普及・啓発」に努めるとあるが、今回のコロナ感染防止対策にしても、刻々と変わる情報がほとんど周知されてないと思う。市のホームページを閲覧する人や市民メールに登録している人は限られているし、特に高齢者は利用しない人が多い。私はよく利用するが、正直とても分かりにくい。市報も自治会に入っていないから届かないという人もいる。「情報取得の格差」をどうするか…多種多様な市民を想定して、効果的で様々な情報発信の工夫が求められていると思う。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。
43			40	【目標値】の記述として、「年に1回以上、非常時における連絡体制、役割分担や行動等について共通認識を得るための会議を開催します。」というような文言を記載してはどうか。	○ご意見を参考に文章を修正します。
44			-	医師会病院は病床再編が行われるなかで救急機能が縮小されていると聞く。その代替をどう考えるのか。市民への普及啓発や輪番制などのソフト対策で十分なのか、疑問がある。ハード面を併せて考えないと岩国医療センターの負担が増加する一方ではないだろうか。	○貴重なご意見として承り、今後の参考にさせていただきます。